

敬 体（東京書籍）	常 体（教育出版）
<p data-bbox="114 172 1064 256">がんの群れを目がけて、白い雲の辺りから、何か一直線に<u>落ちてきました。</u> <u>「はやぶさだ。」</u></p> <p data-bbox="114 268 1064 352">がんの群れは、残雪に導かれて、実にすばやい動作で、ハヤブサの目をくらしながら飛び去っていきます。</p> <p data-bbox="114 363 232 400">「あっ。」</p> <p data-bbox="114 411 1064 496">一羽、飛びおくれたのがいます。大造じいさんのおとりのがんです。長い間かい慣らされていたので、野鳥としての本能がにぶっていたのです。</p> <p data-bbox="114 507 748 544">はやぶさは、その一羽を見のがしませんでした。</p> <p data-bbox="114 555 1064 687">じいさんは、ピュ、ピュ、ピュと口笛をふきました。こんな命がけの場合でも、かい主のよび声を聞き分けたとみえて、がんは、こっちに方向を変えました。</p> <p data-bbox="114 699 1064 879">はやぶさは、その道をさえぎって、<u>ぱあんと、一けりけりしました。</u>ぱっと、白い羽毛があかつきの空に光って散りました。がんの体はななめにかたむきました。もう一けりと、はやぶさがこうげきの姿勢をとったとき、さっと、大きなかげが空を横切りました。<u>残雪です。</u></p> <p data-bbox="114 890 1064 975">大造じいさんは、ぐっとじゅうをかたに当て、残雪をねらいました。が、何と思ったか、<u>また、</u>じゅうを下ろしてしまいました。</p> <p data-bbox="114 986 1064 1118">残雪の目には、人間もはやぶさもありませんでした。ただ救わねばならぬ仲間のすがたがあるだけでした。いきなり、敵にぶつかっていきました。そして、あの大きな羽で、力いっぱい相手をなぐりつけました。</p> <p data-bbox="114 1129 1064 1262">不意を打たれて、さすがのはやぶさも、空中でふらふらとよろめきました。が、はやぶさもさるものです。さっと体勢を整えると、残雪のむなもとに飛びこみました。</p> <p data-bbox="114 1273 197 1310">ぱっ</p> <p data-bbox="114 1321 197 1358">ぱっ</p> <p data-bbox="114 1369 1064 1453">羽が、白い花卉のように、すんだ空に飛び散りました。そのまま、ハヤブサと残雪は、もつれ合って、ぬま地に落ちていきました。</p>	<p data-bbox="1117 172 2045 256">がんの群れを目がけて、白い雲の辺りから、何か一直線に<u>落ちてくる。</u> <u>はやぶさだ。</u></p> <p data-bbox="1117 268 2045 352">がんの群れは、残雪に導かれて、実にすばやい動作で、はやぶさの目をくらしながら飛び去っていく。</p> <p data-bbox="1117 363 1200 400">「あ！」</p> <p data-bbox="1117 411 2045 496">一羽飛びおくれたのがいる。大造じいさんのおとりのがんだ。長い間かい慣らされていたので、野鳥としての本能がにぶっていたのだ。</p> <p data-bbox="1117 507 1675 544">はやぶさは、その一羽を見のがさなかった。</p> <p data-bbox="1117 555 2045 639">じいさんは、ピュ、ピュ、ピュと口笛をふいた。こんな命がけの場合でも、飼い主のよび声を聞き分けたとみえて、がんは、こっちに方向を変えた。</p> <p data-bbox="1117 699 2045 879">はやぶさは、その道をさえぎって、<u>パーンと一つけた。</u>ぱっと、白い羽毛が、あかつきの空に光って散った。がんの体はななめにかたむいた。もう一けりと、はやぶさがこうげきの姿勢をとった時、さっと、大きなかげが空を横切った。<u>残雪だ。</u></p> <p data-bbox="1117 890 2045 975">大造じいさんは、ぐっと銃をかたに当て、残雪をねらった。が、なんと思ったか、<u>再び</u>銃をおろしてしまった。</p> <p data-bbox="1117 986 2045 1118">残雪の目には、人間もはやぶさもなかった。ただ、救わねばならぬ仲間のすがたがあるだけだった。いきなり、敵にぶつかっていった。そして、あの大きな羽で、力いっぱい相手をなぐりつけた。</p> <p data-bbox="1117 1129 2045 1262">不意をうたれて、さすがのはやぶさも、空中でふらふらとよろめいた。が、はやぶさもさるものだ。さっと体勢を整えると、残雪のむなもとに飛びこんだ。</p> <p data-bbox="1117 1273 1200 1310">ぱっ。</p> <p data-bbox="1117 1321 1200 1358">ぱっ。</p> <p data-bbox="1117 1369 2045 1453">羽が、白い花卉のように、すんだ空に飛び散った。そのまま、はやぶさと残雪は、もつれ合って、沼地に落ちていった。</p>